

平和を希求する心を育てる取組

報告年月日 令和2年3月20日
都市名・国 千葉県鴨川市

取組の名称	平和を考える上映会
実施主体 (該当項目に✓)	<input type="checkbox"/> 学校 <input checked="" type="checkbox"/> 自治体 <input type="checkbox"/> NGO <input type="checkbox"/> 複合 ()
テーマ・目的	戦争の悲惨さと平和の大切さ
対象者 (年齢・学年、人数等)	小学校高学年から一般 26名 (子ども5名、大人21名)
実施場所	鴨川市立図書館
実施期間	令和元年 8月 18日 ~ 令和 年 月 日 (1日間) ※平成29年度から終戦記念日前後に戦争と平和をテーマに上映会を開催している。
取組の概要	<p>平成29年度から8月の終戦記念日近くの日曜日に上映会を行っている。図書館長から上映会の趣旨を説明した後、映画を鑑賞し、その後、参加者同士の意見交換という流れとなっている。一昨年度は「ウミガメと少年」、昨年度は「あの日、僕らは戦場で一少年兵の告白」、本年度は「ガラスのうさぎ」を上映した。特徴としては、小さい子どもたちにも興味を持ってもらうため、アニメを取り込んだ作品を取り上げるようにしている。</p>
参加者の反応	<p>来場者の中には親子連れや祖父・祖母とともに訪れる小学生も居り、上映中は来場者みな真剣にスクリーンを見つめていた。時折、映像を指さして隣に座っている子どもへ語りかける保護者の姿も見られた。来場者からの感想として「戦争について考える機会は貴重だと思う」「来年も8月にこうした上映会を行って欲しい」等の声をいただいている。</p>
成果	<p>戦争の悲惨さと平和を考えるよい機会となった。戦後世代が大半を占める中、戦争があったことを風化させないためにも、意義ある企画と考えている。</p>
課題	<p>上映権付きのDVDが品数が少ないことや、有名な作品は価格が高いこと。</p>
取組で使用した素材について	<p>○映像:「ガラスのうさぎ」(原作:高木敏子) 終戦60周年を記念して同名のノンフィクション文学作品をアニメ映画化したもの。 東京大空襲で家族を失った悲しみの中で、心を奮い立たせて生きようとする12歳の少女の姿を描く。</p>
上記素材の共有の可否	<p><input type="checkbox"/>掲載可能 (素材を添付してください) <input type="checkbox"/>掲載不可 <input checked="" type="checkbox"/>不明</p>

※ 画像等の資料がある場合は別ファイルで提出してください。

<当日の様子>



上映を前に来場者にあいさつする蒔苗図書館長



会場後方に展示した戦争関連の書籍(一部)